

1 日時 令和7年6月9日(月) 13:30~15:30

2 会場 岡山県立早島支援学校 大会議室

3 参加者 ・学校運営協議会委員13名
・事務部長、副校長、各部教頭、主幹教諭、安全チーフ、交流チーフ、進路指導主事 12名

4 内容

(1) 開会行事

- ①開会挨拶 <校長>
- ②委員紹介 <自己紹介>
- ③会長選任
- ④会長挨拶 <会長>

(2) 説明 <事務局>

- ①学校運営協議会実施計画について
 - ・内容
 - ・年間スケジュール

(3) 授業参観 <各部教頭>

(4) 協議 <進行:会長>

- ①令和7年度学校経営計画について <校長>
- ②重点協議事項について <事務局>

「地域に開かれた学校づくりに向けて、今年度取り組みたいこと」

・安全班(井上み様、中島様、花元様、上村様、久本校長、齊藤教頭、阿部教頭、西山主幹、学校安全チーフ)

・進路班(西田様、羽原様、三好様、平岡様、三宅教頭、大森教頭、西原主幹、佐藤進路指導主事)

・地域交流・地域貢献班(野中様、中元様、田野様、井上と様、事務部長、江口副校長、佐々木主幹、交流ボランティアチーフ)

○グループ協議の内容の共有

安全班

防災体制の充実。防災かばんの物品や訓練等対応が進んでいる。拡充するためには、実際の動きをたくさんの人に見ていただくことで精度を上げていく。7月23日に合同防災訓練にPTAや運営協議会の皆さんに見てもらえたら。校内防災ツアーや訓練見学等。行政との連携も。防災士等と連携。

進路班

本校の課題

- ①生活介護事業所の不足。特に呼吸器対応。事業所と交流できる場が設定できると良い→今年度の夏に、人工呼吸器対応が可能な事業所との交流会を計画。
- ②就労先の開拓。知的障害対応ではなく、肢体不自由や病弱対応が少ない。社会性が求められるので、学校で学ぶ機会を設定していく
- ③生徒に色々な働き方があることを伝える。小学部の保護者にも伝える。

地域交流・貢献班

学校間交流では、早島中学校と今年度直接交流を、早島小学校とは、来年度直接交流に向けて、今年度、ロボットも使いながら間接交流をする。

職場体験では、早島中学校の職場体験を受け入れるために、R7 社会福祉協議会での様子を見に行く。R8 受け入れを目指して年間行事予定を決める→第3回の話題にもする

ボランティア募集では、いろんな方法を提案していただいたので、やってみる。

(5) 各委員から

西田様：前年度の意見を取り入れて少しでも良くしようとする努力に感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

井上美智子様：学習の場面を見せて頂きました。個別に対応していることがよくわかりました。廊下にももの多くて、地震の時にどうなのか、と心配になりました。

中島様：多くの先生方が、個別の対応をされている姿に見るたびに背筋が伸びる。この学校の役割は大きい。役に立てるように頑張ります。

野中様：先生方が真剣に取り組んでいることに感動しました。社協の課題でもあるけど、この会があることを地元知ってもらっていないことが課題。この学校の機能やどういった生徒がいて、どういった教育をしているかを町内の皆さんに知ってもらうことが必要。社会福祉協議会とともに考えていきたい。

羽原様：初めて参加しました。DXハイスクールの取り組みを初めて知ったけど、働き方が多様になってきているので、こういった技術を使った取り組みや暮らし方を積極的に発信していただければ。

中元様：本当に先生方が子どもの一人一人の良さをしっかり捉えられていることに感動します。これからも、続けて頑張ってもらいたい。支援学校がこんなにもいいところだということを早島町に宣伝するいい機会があればいい。理解してもらえたら、早島町がもっと協力しようとするようになる。

三好様：子ども達が笑顔で授業に取り組んでいることがよかった。知っている子も、授業に集中していた。「知ってもらう」ことが重要。何ができるか、どうすればいいか、の前にどこに行けばいいか。やりたいと思っても、どこに行けばいいかわからない場合も。関わるためのハードルを下げる方法を一緒に考えていきたい。

平岡様：子どもさん達が楽しく授業を受けている様子を見て、先生方がしっかり関わってくださっているからだと思った。社会性をどう身につけていくかが課題だが、生活介護事業所と結びつけていく、就労移行と結びつけていくなど、卒業後をイメージできるようにすることが大事。どう伝えていくかを一緒に考えられたら。

井上徹様：小学校では、個別最適な学びが話題になるが、小学校は教育内容の個別最適化ばかり求められる。この学校のPC室はいろんな高さのディスプレイがあった。プロジェクターを天井に映すという発想もなかった。こういった情報も含めて、連携をしていきたい。

田野様：直接交流に挑戦していく。時間や交通のことも課題があるが、実現できるよう頑張る。

上村様：今年度この会に参加させていただいて、とても充実した時間でした。日頃疑問に思っていて聞けなかったことを、この機会をうまく使って解決したり、保護者に伝えられたりできたらと思う。

(6) 閉会行事